

日本電気泳動学会 電子メール通信 No. 2

2014年4月13日

電子メール通信 No.1 の訂正 :

日本電気泳動学会児玉賞選考委員会委員長は志村清仁先生でした。訂正してお詫び申し上げます。

【第 65 回 日本電気泳動学会総会】のお知らせ

日本電気泳動学会国際学術賞**平井賞**は

O' Farrell の二次元電気泳動の開発者

P. H. O' Farrell 博士に決定!

O' Farrell 博士は、米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校教授。

第 65 回日本電気泳動学会総会・研究発表会 1 日目午前に授賞式、受賞講演があります。

O' Farrell 教授は、米国 Boulder Colorado での学生時代にタンパク質の二次元電気泳動法を開発しました。その方法を 1974 年に学位論文として発表しています。また、翌年、その成果を Journal of Biological Chemistry に公表しました。これが、現在でも広く使われている O' Farrell の二次元電気泳動法です。この方法は、一次元目にタンパク質変性条件下の等電点電気泳動、二次元目に SDS ゲル電気泳動を最初に採用した二次元電気泳動法で、1 回の分析で極めて多数のタンパク質を分離することができます。O' Farrell 教授は、二次元電気泳動法開発後、カリフォルニア大学サンフランシスコ校に博士研究員として移り、1979 年に同校に研究室を立ち上げました。後年には、胚形成の分子レベルでの研究のパイオニアとなりました。これまでに発表した論文は 110 報以上にのぼります。O' Farrell 教授の開発した二次元電気泳動は、プロテオミクスの最も重要な手法の一つになり、O' Farrell 教授は、タンパク質科学領域に大きな功績を残すことになりました。

日本電気泳動学会会員皆様

第 65 回日本電気泳動学会総会・研究発表会は下記の要領で開催されます。
 会員の皆様の参加登録 (<http://www.jes1950.jp>) 受付中です。会場の席数が
 限られています。早めにご登録下さい。なお、5月1日からは非会員も参加登
 録できます。

第 65 回日本電気泳動学会総会・研究発表会プログラム

ver.20140410

プログラムに変更がある場合には、学会電子メール通信でお知らせいたします。

総 会 長 平野 久
 会 期 平成 26 年 10 月 24 日 (金) ~ 25 日 (土)
 会 場 横浜市 横浜情報文化センター (〒231-0021 横浜市中区日本
 大通 11 番地 TEL : 045-664-3737)
 情文ホール、ホワイエ、大会議室、小会議室
 参 加 費 無料
 後 援 国際タンパク質化学構造解析・プロテオミクス学会日本支部、GE
 ヘルスケア・ジャパン

第 65 回 日本電気泳動学会総会・研究発表会開催日程							
	10月23日(木)	10月24日(金)			10月25日(土)		
	レストラン(会場未定)	情文ホール	大会議室	ホワイエ	情文ホール	大会議室	ホワイエ
9:00	理事会 15:00-		評議員会 9:00-	ポスター パネル搬入			電気泳動学会ポス ターセッション 9:00-
10:00	理事・評議員・名誉会員懇親会 18:00-	電気泳動学会総会(会員)					
11:00		開会の挨拶 国際学術賞平井賞、児玉 賞受賞講演会 10:30-	写真撮影(希望者)	ポスター 展示開始	シンポジウム 「最新の電気泳動技術30」 6演題 11:00-		
12:30		GEランチョンセミナー					
13:00				ランチ			ランチ
13:30							
14:00							
15:00		シンポジウム 「最新の電気泳動技術30」 11演題			シンポジウム 「最新の電気泳動技術30」 13演題	シンポジウム 「電気泳動で明らかに された新症例」 6演題	
16:00						閉会の挨拶	
17:00			懇親会 (会場未定)		閉会の挨拶		
19:30							

第1日【10月24日（金）】

<情文ホール>

午前の部

- 9:00-10:00 評議員会（大会議室）
- 10:00-10:30 総会（写真撮影）（会員のみ）
- 10:30-12:30 開会、国際学術賞平井賞、児玉賞受賞講演（公開）
- 12:30-13:00 ランチョンセミナー（GEヘルスケアジャパン）（公開）
- 13:00-13:30 ランチ（参加者全員）

午後の部

- 13:30-17:00 シンポジウム「最新の電気泳動技術 30 の話題」（公開）

<懇親会>

- 18:00- 会場未定（希望者全員）

第2日【10月25日（土）】

<情文ホール>

午前の部

- 9:00-11:00 ポスターセッション、展示（ホワイエ）（会員のみ）
- 11:00-13:00 シンポジウム「最新の電気泳動技術 30 の話題」（公開）

午後の部

- 13:00-13:30 ランチ
- 13:30-17:30 シンポジウム「最新の電気泳動技術 30 の話題」（公開）
- 17:30 閉会 近藤 格 日本電気泳動学会副会長

<大会議室>

午後の部

- 13:00-13:30 ランチ（参加者全員）
- 13:30-17:30 シンポジウム「電気泳動で明らかにされた新症例」（公開）
- 17:30 閉会 大石正道 日本電気泳動学会副会長

理事会：平成26年10月23日（木）15:00-17:00

会場未定

理事、評議員、名誉会員懇親会：平成26年10月23日（木）18:00-

会場未定

日本電気泳動学会総会シンポジウム

情文ホール【平井賞受賞講演】

10月24日（金）

座長 平野 久

タンパク質の二次元電気泳動法の開発（英語）

カリフォルニア大学サンフランシスコ校 P. H. O' Farrell

情文ホール「最新の電気泳動技術 30 の話題」

セッションオーガナイザー 横浜市立大学 平野 久

10月24日（金）

【新規担体を用いた電気泳動】座長 未定

1. 超分子ヒドロゲルによるタンパク質電気泳動法

静岡大学創造科学技術大学院 山中正道

2. 分子マトリック電気泳動 産業技術総合研究所 亀山昭彦

【非変性ゲル電気泳動】座長 未定

3. 非変性条件マイクロ二次元電気泳動と定量的LC-MS/MSの組み合わせによる細胞タンパク質の解析 愛媛大学理学部 真鍋 敬

4. 改変 CBB を用いた新規 Clear Native 電気泳動法

鳥取大学大学院工学研究科 日野智也

【アフィニティー電気泳動】座長 未定

5. Phos-tag 電気泳動 広島大学医歯薬保健学研究院 木下英司

6. タンパク質結合型金属イオンのポリアクリルアミドゲル電気泳動によるマッピング 埼玉大学大学院理工学研究科 齋藤伸吾

7. レクチンアフィニティー分子マトリクス電気泳動法

産業総合研究所 松野裕樹

8. レクチンアフィニティークロマトグラフィー分析による糖タンパクの臨床応用 東邦大学医学部泌尿器科 笠原瑞希

9. アフィニティートラップポリアクリルアミドゲル電気泳動（AT-PAGE）法の開発 大阪大学蛋白質研究所 高尾敏文

10. MPBA 電気泳動による糖化タンパク質の分析

北里大学理学部 大石正道

【三次元デジタル電気泳動】座長 未定

11. 三次元デジタル電気泳動法の開発

大阪府立大学大学院工学研究科 末吉健志

【自動電気泳動装置】座長 未定

12. 自動電気泳動装置 熊本大学大学院生命科学研究部 荒木令江

10月25日(土)

【難溶性タンパク質の電気泳動】座長 未定

13. 難溶性タンパク質の電気泳動

高知大学理学部生物科学コース 十亀陽一郎・松岡達臣

【二次元電気泳動】座長 小寺義男

14. ディファレンスゲル二次元電気泳動の新技術

国立がん研究センター研究所 近藤 格

15. 巨大二次元電気泳動の新展開 奈良先端大学院大学 稲垣直之

16. アガロースゲル二次元電気泳動の新技術

北里大学理学部 大石正道

17. 液相等電点泳動を用いた二次元泳動法の活用

香川大学農学部 杉山康憲

18. 二次元電気泳動画像解析ソフトcancerd2の開発

京都工芸繊維大学工芸科学研究科 岸本通雅

【ゲル上のタンパク質の検出】座長 未定

19. ゲル内キナーゼアッセイ法の開発と応用

広島大学大学院総合科学研究科 石田敦彦

20. タンパク質検出用蛍光分子プローブの創製と医療診断への展開

産業技術総合研究所 鈴木祥夫

21. 自己抗体が認識する抗原タンパク質の検出法の開発

北里大学医療衛生学部 佐藤雄一

【キャピラリー電気泳動】座長 未定

22. "Plug-plug technique" を用いたアフィニティーキャピラリー電気泳動
東京大学大学院新領域創成科学研究科 齊藤一樹
23. アフィニティークロマトグラフィーとキャピラリー等電点電気泳動
のオンライン結合 福島医科大学医学部 志村清仁
24. アフィニティーキャピラリー電気泳動による糖鎖高感度解析技術の
開発 近畿大学薬学部 鈴木茂生
25. シアル酸を特異的に認識するランタノイド錯体を用いるアフィニテ
ィーキャピラリー電気泳動法 埼玉大学大学院理工学部 齋藤伸吾
26. アフィニティーリガンド内包ヒドロゲル部分充填キャピラリーを用いる電
気泳動分析 京都大学大学院工学研究科 大塚浩二

【翻訳後修飾タンパク質の電気泳動】座長 未定

27. 糖タンパク質の電気泳動
東京大学大学院新領域創成科学研究科 山本一夫
28. システインの修飾状態を分析できる電気泳動法の開発
東京工業大学資源化学研究所 原 怜
29. Cy3/Cy5 マレイミド蛍光標識二次元電気泳動法によるタンパク質内フリ
ーチオールレベルの比較定量解析
横浜市立大学先端医科学研究センター 戸田年総
30. モビリトーム解析 理化学研究所 松山晃久

大会議室「電気泳動で明らかにされた新症例」

セッションオーガナイザー：文教学院大学保健医療技術学部 中山亜紀

10月25日(土) 座長 未定

1. 電気泳動法を用いる血液型依存性高ALP血症の確認
埼玉県立大学保健医療福祉学部 松下 誠
2. 液相免疫反応法を用いたAFPの測定
近畿大学医学部附属病院中央臨床検査部 井本真由美
3. 電気泳動検査が発見の端緒となった自己免疫性膵炎の診断基準

信州大学附属病院 菅野光俊

4. LAP 測定試薬との異常反応を呈した原発性マクログロブリン血症の解析例

旭川医大病院臨床検査・輸血部 新関紀康

5. 電気泳動検査で見出された monoclonal IgE の分子性状解析

信州大学医学部保健学科 亀子文子

6. 電気泳動解析を生かした臨床検査診断

青森県環境保健センター理化学部 佐藤裕久

7. セア膜電気泳動法用いた尿タンパク解析で腎障害を診る

文京学院大学 中山亜紀

一般演題（筆頭発表者は会員に限る）の申込要領：

(1) 演題申込はメールにて受け付けます。一般演題の発表はすべてポスター発表となります。筆頭発表者は会員である必要があります。日本電気泳動学会ホームページ

(<http://www.jes1950.jp>) にアクセスしていただき、トップページから所定の抄録記入用ファイル(MS Word ファイルで summary.doc)をダウンロードして下さい。演題欄、氏名、所属欄、および要旨欄にそれぞれ必要事項を上書きしていただき、ファイル名を筆頭者氏名（ローマ字小文字、【例】hisashihirano.doc)に変更した後、下記のメールアドレスに添付書類として送信して下さい。なお、枠組みの位置など、書式の変更はしないで下さい。また、メール本文にも申込者氏名、所属、連絡先を明記して下さい。

(2) 申込先：65th_meeting@jes1950.jp（横浜市立大学 木村弥生）

(3) 申込締切：2013年7月31日(木)

ご不明な点がございましたら、事務局までご連絡下さい。

演題抄録の作成方法：

(1) 講演抄録は、目的・方法・成績・考察の順に具体的に記載し、あまり余白のないように記述して下さい。また、MS 明朝 9 ポイント（字送り 9pt）、25 字詰 X 43 行、2 段で 2,150 字が印字できるようになっています。

(2) 図表・写真を貼り付けても結構ですが、総ファイル容量を 1MB 以下にして下さい。

(3) 用語などについては生物物理化学投稿規定に従って下さい。日本文以外（単語を除く）で記述されたものは受け付けません。

(4) 演題名は内容を表す範囲で簡潔に表現して下さい。

(5) 所属は氏名の後に、所定の場所に略称で記入して下さい。

(6) 演者の氏名の前に○印をつけて下さい。38歳以下の演者の方はポスター賞の対象になりますので、◎をつけて下さい。

お問い合わせ先：

第65回日本電気泳動学会総会事務局

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9

横浜市立大学先端医科学研究センター 木村弥生

E-mail 65th_meeting@jes1950.jp ※ お問い合わせはメールでお願いします。

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局 (secretariat@jes1950.jp) 宛お願いいたします。